

= Kotchari =

Pontos - Ellas

ΚΟΤΣΑΡΙ

(Kotsari)

1988 Jane Wieman により Kolo で. もとは Joe Graziosi が「そうた」.

~ 解説 ~

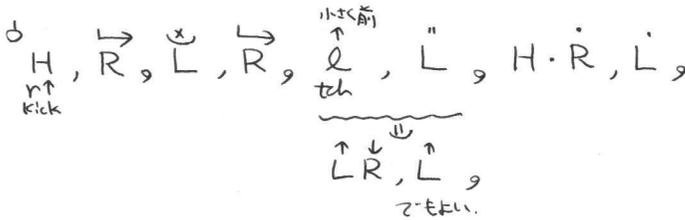
"Kotchari" は. 現在の Pontos の人々のおどりで 最も ポピュラーな踊りである. もともとは 19世紀に ロシアの コ-カサス に つくられた ポントスの 社会の踊りであったが. この "Kotchari" は. Pontos 全体の踊りになった. そして "Tik" などの踊りと同様に 急速に. 北ギリシア地方の Pontos でない人々の間にも ポピュラーとなり. 全ギリシア人の踊りになってきている. "Kotchari" という名は. anklebone (= 距骨) を意味する "Kotsi" 又は "Kotchi" から来ており "Kotchari" は. 「大きな かがこの骨」を意味する. 同じ語源をもつ踊りの名に "Kots" や "Kotsangel" などがある. この語は ギリシア語の "Koutsos" ~ 「びっこ」にも関係している.

↑
KOUTSOS

一部差別用語を使, た歌にな, てしまいました...
Deni

~ Joe a Text より

T-position Open Circle (or close)



足はあまり上げずにおこる. 上下動はあるのは.

Var.



・単純
・個人的に...

⑨ 特に若い世代を中心とした多くの Pontos の人々は. 1小節目の 2ct. から入るように踊り. 全体に 1ct. すらしておこる. これは 舞台上で踊る グループには. 標準的なものである. なせなら その方が コシオグラフ しやすいからである. ~ Joe a Text より.

↑ 以前 Fusae さんの紹介した Kotsari (Xopoulos) のカウントのとり方はこうだった.

Deni

Κ Ο Τ Σ Α Ρ Ι

The musical score is written in 2/4 time with a key signature of two flats (B-flat and E-flat). It consists of five systems of two staves each (treble and bass clef). The melody in the treble clef features several triplet markings (indicated by a '3' in a circle) and slurs. The bass clef part provides a steady accompaniment with chords and eighth notes. The piece concludes with the instruction 'D. C.' (Da Capo).

◎ 上は Kotsari です。◎

Kotsari と Kotchari (ギリシヤ～ポントスのもの) の違いは何なのかよくわかりませんが、
 この本のタイトルでは KOTΣAPI としているものしかみあたらないので、ひょっとしては
 Kotchari は Pontos の方言 かも知れません。いずれにせよ同じ踊りを示しています(は、
 まじりしたことのわかるまで混用します。(している人はおしえてネ) コツアリ、
 コチャリ??? 同様に Letsina, Letchina, Latchinas など?? 私のもつ
 この本などでは ΛΕΤΣΙΝΑ とあり Letsina なのですが... (よ、2. これも、Lツナ、
 Lチナなどの混用としておきます。)

今号、以後の Zurchan などでは、混乱なさいませぬよう...
 これにしても、Pルキ=Panocharee や、ロシアの Kotchari などとどういう関係なのでしょうか...